



公益社団法人日本PTA全国協議会

ネットについて親子で話そう

— 情報モラルは家庭から —

「情報モラルはネットにつながる機器を持たせてから」と思っていませんか？
子どもたちはさまざまな機器や機会を通して、身近な道具となったインターネットに接しています。
日ごろから親子で対話の機会を持ち、かしこく使えるように育みましょう。

情報モラルとは

「情報社会で適性な活動を行うための基になる考え方と態度」のことで、
次の2つの取組みをお願いします。

① 日常的なモラルを育む

情報モラルの基礎となる道德観や倫理観です。
ご家庭で相手への思いやりや、自制心、判断力、想像力を育みましょう。

心を磨く領域

情報社会の倫理、法の理解と遵守など

② ネットの特徴を話し合う

ネットにあふれる「情報の信頼性や見極め」
SNSなどで必要な「情報発信への自己責任」「多様な意見への理解」「文字コミュニケーションの難しさ」「情報と安全に向き合う方法」などを一緒に考えましょう。

知恵を磨く領域

安全への知恵、情報セキュリティなど

\\ 自ら気づき考え、正しく、かしこく使えるように育みましょう //

子どもたちのネット利用に私たち保護者が追いつくのは難しいと言えます。しかし、情報モラルの基礎となる部分は一般的なモラル（道德）と同じです。また、道具であるネットで起きることは使う人の気持ち次第で変わります。

ご家庭で一般的なモラルを育むとともに、ネットの特性理解や利用時間、利用場所、コミュニケーショントラブルなどへの「気づき」の促しなど、さまざまな機会に子どもと話し合い、自ら気づき考え、正しく、かしこく使えるように育みましょう。

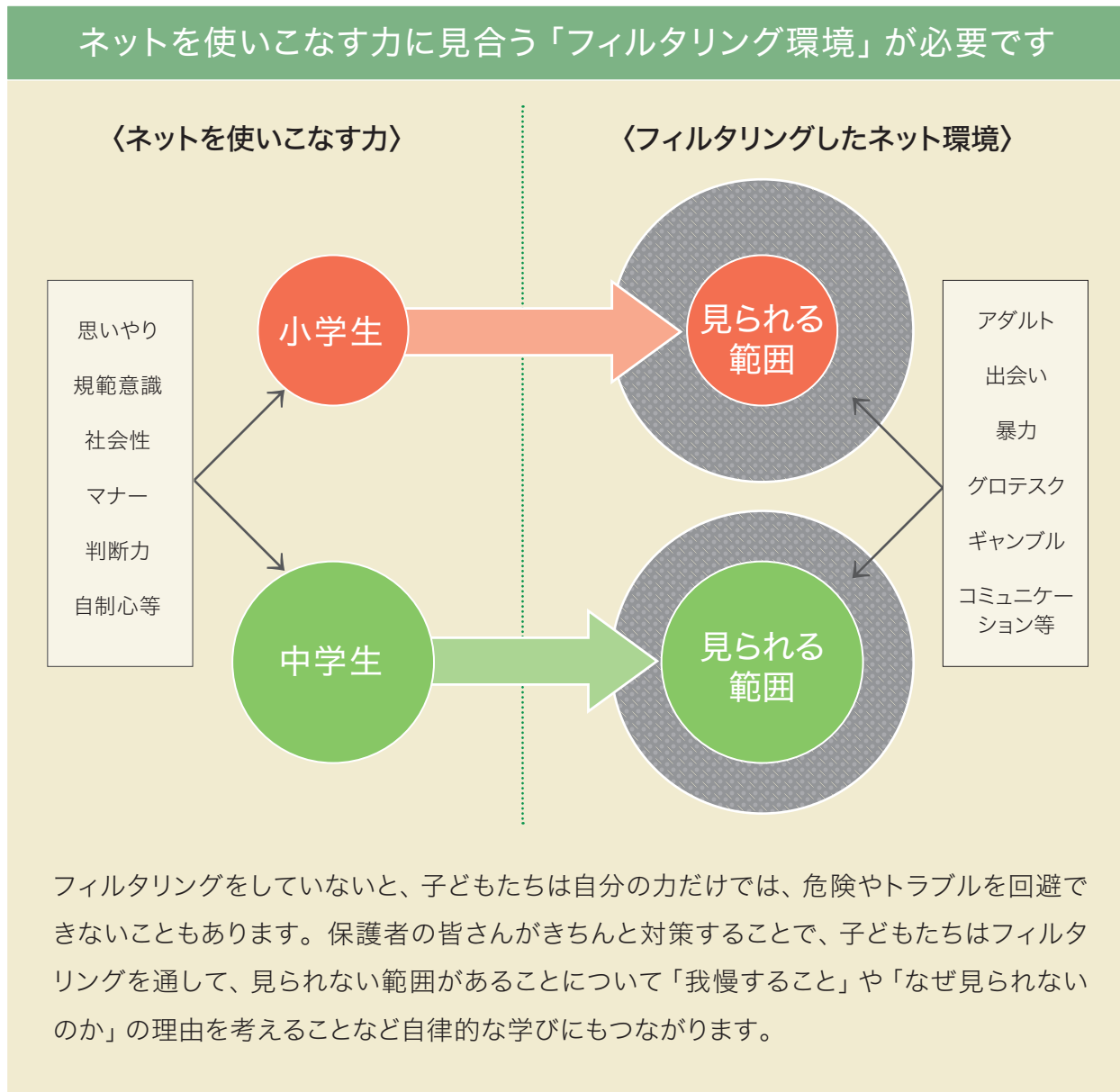


持たせる責任・持つ自覚

(公社) 日本PTA全国協議会は、子どもたちがインターネットを正しく利活用できる環境を整えるため「春のあんしんネット・新学期一斉行動」を推進します。

スマホやネットのフィルタリングは 「学び」の視点から

ネットを使いこなす力に見合う「フィルタリング環境」が必要です



フィルタリングをしていないと、子どもたちは自分の力だけでは、危険やトラブルを回避できないこともあります。保護者の皆さんがきちんと対策することで、子どもたちはフィルタリングを通して、見られない範囲があることについて「我慢すること」や「なぜ見られないのか」の理由を考えることなど自律的な学びにもつながります。

《協力》詳しいフィルタリングの内容は、関係機関、携帯電話会社のサイトをご参照ください。

 <p>1億人のネット宣言 もっとグッドネット</p> <p>安心ネットづくり促進協議会</p> <p>保護者のための「青少年のスマホ利用のリスクと対策」</p> 	 <p>TCA 電気通信事業者協会</p> <p>家族で話そうケータイ・スマホのルール「フィルタリングサービス」動画</p> 	 <p>NAMD 一般社団法人 全国携帯電話販売代理店協会 National Association of Mobile phone Distributors</p> <p>全国携帯電話販売代理店協会</p> <p>関連サイト</p> 
--	---	--